



学校だより 青い鳥

平成28年度12月号
さいたま市立上落合小学校
平成28年12月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



経験値と予測

校長 藤澤 太郎

秋が深まり、今度は冬が近づいてきました。校庭の銀杏の葉が斑に黄色く、校庭の中だけでも季節の移ろいを楽しむことができます。PTAの方々に植えていただいたシクラメンやパンジーがよいアクセントとなり、気持ち豊かになります。11月は全体として充実し、行事もありましたけれど、子どもたちは学習に生活に毎日よく頑張っていました。日常生活習慣の方も、だんだんと育ってきているようです。「おはようございます!」をはじめとするあいさつや立ち居振る舞いが、4月とはくらべものにならないほど良くなっていると感じることがたびたびあります。

さて、自分の未来が分かったらどんなに楽しいだろう?と、考えたことはありますか?「いやいや、自分の未来が分かたらつまらないだろう!」とする向きもありますよね。

このことについて、例えば映画で言えば、「BACK TO THE FUTURE」を代表するようなことだろうと思います。その当時、私は、2作目の途中あたりからタイムトラベルの意味をマーティ(主人公の高校生)が口にするようになり、そのことはとくにドク(マーティの親友で科学者)は分かっていたのに…という風に見たように記憶しています。あるいは、最近の研究(?)では、アインシュタインが予言したとおり、ブラックホールとホワイトホール(出口)の関係から、未来へ旅行することが理論的に可能なんだそう…。もう少し具体的に説明すると、光速に近いロケット内部では、外部より時間の進みが遅くなるため、内部での1時間は外部では数年に相当するとか…。そして、その原理を応用して、一回ブラックホールを潜ることで時差を発生させて同様の効果を得られる、とするものだそうです。これは、現実的ですが不可能だろう!と誰でも考えてしまいますね。

こんな夢みたいな話には、思わず「夢がある!」と考えがちですが、現実的には「予測」をするしかなさそうです。子どもたちを見てみると、この春進級して4月にぎこちなかった人間関係が、今ぐらいの時期になると、まるで10年も前から親友だったようなことになっていることに気がきます。また、例えば世の男性は高速道路のSAのトイレに入った時、無意識に右から三番目に立ってしまうということもあるかもしれません。こうした事柄を考えるには、大体の場合、過去の経験に基づいた予測の賜ではないかと考えています。つまり、経験値があるだけ、未来への道筋の真ん中を歩くことができるのではないかという考え方です。しかし、「経験値=確かな未来」とするには、どうにもそうではない何か別の要素がありそうです。そうです!自分の信じる未来をつかもうとする推進力がそこにはあるのではないのでしょうか。「夢はかなう!」という言葉が数年前によく聞かれましたが、自分の未来をイメージできるから頑張れるということではないかと考えます。そして、このことをもとにさらに考えつくことは、「子どもには良い経験をたくさんさせること」が先ず大切で、その次に、「本物に触れさせること」が重要であると勝手に思っています。

未来が変わるスイッチや装置があれば面白いですが、前述の映画「BACK TO THE FUTURE」の中で、ビフとしては、あの時、数十年先の「スポーツ年鑑」を手にした時、その使い方を間違えてしまったということです。ビフの気持ちも分からないではないですが…。

残り3週間、充実した日々が送れるよう願っております。また、冬休みには体調に気を付けられ、ご家族で良いお年をお迎えいただきたいと祈念しております。

学校教育目標

あかるく

なかよく

たくましく